

東京大学医科学研究所共同研究拠点事業  
平成 24 年度成果報告会

開催日：平成 25 年 3 月 11 日（月）

会場：医科学研究 1 号館講堂

プログラム

13：00 開会の辞 医科学研究所所長 清野 宏

**【領域 1：先端医療研究開発共同研究領域】**

13：05 樋口 孝 （東京慈恵会医科大学）

「ライソゾーム病モデル iPS 細胞を用いたライソゾーム病の病態解析」

13：20 渡辺恵理 （東京大学医科学研究所）

「原発性免疫不全症に対する臍帯血ミニ移植後の混合キメリズムの解明と  
治療法の開発」

13：35 日下部岳広 （甲南大学）

「脊索動物モデルを活用した高精度なシス調節配列予測法の開発」

13：50 河野隆志 （国立がん研究センター研究所）

「クロマチンリモデリング蛋白質の転写制御標的遺伝子の同定」

14：05 醍醐弥太郎 （滋賀医科大学）

「新規肺がんペプチドワクチン療法の臨床開発研究」

14：20 世良田 聡 （医薬基盤研究所）

「悪性胸膜中皮腫に対するサイトカインシグナル伝達抑制分子（SOCS）を  
用いた遺伝子治療法の臨床応用」

14：35 鈴木哲朗 （浜松医科大学）

「ウイルス性慢性肝疾患治療用の新規アデノウイルスベクターの開発」

14：50 coffee break

**【領域 2：疾患システム共同研究領域】**

15：00 井田弘明 （久留米大学）

「遺伝性自己炎症疾患の細胞株を利用した炎症シグナル伝達とプロテオミ  
クス解析」

15：15 藤田美歌子 （熊本大学）

「NF- $\kappa$ B 活性化経路を精密に阻害する低分子化合物の合成」

15：30 越川直彦 （東京大学医科学研究所）

「がんにおける TGF- $\beta$  シグナルと MT1-MMP のクロストークの in vivo 光

イメージング」

- 15 : 45 栗林 太 (川崎医科大学)  
「GCN5ファミリーによるタンパク質リン酸化のエピジェネティック制御機構の解析および発癌・癌悪性化への関与の検討」
- 16 : 00 本村政勝 (長崎大学)  
「筋特異的受容体型チロシンキナーゼ活性化機構の破綻と筋無力症」
- 16 : 15 田村研治 (国立がん研究センター中央病院)  
「接着分子を対象とした新規分子標的治療マーカーの研究」
- 16 : 30 coffee break

**【領域3：感染症・免疫共同研究領域】**

- 16 : 40 高橋一郎 (広島大学)  
「粘膜系記憶 T 細胞の誘導・維持機構の解明」
- 16 : 55 植松 智 (東京大学医科学研究所)  
「腸管系樹状細胞と自然免疫受容体群の解析による感染免疫機構の解明」
- 17 : 10 鈴木樹理 (京都大学)  
「新世界ザルの生物学的特性の解明」
- 17 : 25 牧野晶子 (京都大学)  
「ウイルスタンパク質内の TLR シグナル伝達阻害ペプチドの探索と評価」
- 17 : 40 閉会の辞 医科学研究所経理系副所長 三宅健介